

李炯燮地区長の聖和式の報告

天5月25日(水)、李炯燮地区長の聖和式が、宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長をお迎えし、徳野英治会長を主礼として、新宿家庭教会礼拝堂にて執り行われました。これまで共に歩まれた全国の牧会者をはじめ、李炯燮地区長を偲んで多くの食口達が参加してくださいました。前日の帰歎式では480名、聖和式には620名を越える方々が全国から参列してくださいました。

略歴紹介の後、ご長男の李浩宗様を送辞を述べられました。アップと呼びかけながら、長い闘病生活を辛い、地上で共にする時間は思ったほど短かったことに驚きながらも、自然や家族が大好きで、言葉より行動や姿勢で伝えようとする父親との思い出を回想されながら、霊界での活躍と父親の志を相続して、兄弟が切磋琢磨して母親を助け、み旨に頑張るから安心してください、と感動的な内容でした。

主礼の徳野英治会長より「祝 祖国光復必勝奉身代表者」という揮毫を下賜して下さった事を証して下さいました。また、李炯燮地区長の代身として地上に残された者として、私たちが今後成して行かなければならないことを3つにまとめて語って下さり、私達が地上で使命を果たせるように見守ってくださるようにと聖和の辞を結んでくださいました。

- 1、真の父母様に対して忠孝を尽くした生涯、孝子孝女となる精誠を受け継ぐこと。
- 2、神氏族メシヤの使命と救国救世の使命を果たすこと。
- 3、残されたご家族の成長を見守り支えること。



本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
2. 神氏族メシヤ勝利と救国救世の基盤造成の為の40日特別伝道路程
真の父母様の御誕生日と基元節3周年の勝利圏を相続して、天一国4年の第二次40日特別精誠期間として、神氏族メシヤ勝利と救国救世基盤造成のために、「우리는 하나다 (ウリヌハナダ)」の精神で、さらに全食口が真の父母様とひとつとなって、邁進して参りましょう！
第4次:5月20日(金)～6月28日(火)までの40日間
① 天一国三大経典訓読の生活
② 救国救世のビジョンと思想の講義案学習
③ 対象者43家庭のリストアップによる神氏族メシヤ伝道の推進
④ 2世および青年祝福対象者1名、既成・独身祝福対象者2家庭の伝道(年間)
⑤ 家庭集会及び地域集会・地域貢献活動の活性化
⑥ 世界貢献使命完遂

3. 東埼玉教区野外礼拝

日時:6月5日(日)集合10:00
場所:秋ヶ瀬公園(三ツ池グラウンド)
(埼玉県さいたま市桜区道場)
内容:教区長の説教、各教会で準備した屋台やゲーム

4. 清平ツアー① 格安!!

■ツアー名:東埼玉教区・びっくりツアー
■日程:2016年6月24日(金)～6月26日(日)(2泊3日)

5. 清平ツアー② 本郷苑参拝

■ツアー名:東埼玉教区・本郷苑ツアー
■日程:2016年7月15日(金)～7月17日(日)(2泊3日)

6. 2016 夏季清平特別大役事

2016/8/18(木)6:30出発祈禱会～8/20(土)19:30感謝祈禱会

	8月18(木)	8月19日(金)	8月20日(土)
朝	出発祈禱会	役事	特講
午前	所願成就祈禱会	天宙聖和4周年記念式	先祖解怨式 先祖祝福式
午後	聖地巡礼 特講	聖地巡礼 所願成就祈禱会	聖地巡礼
夜	開会式	特講	感謝祈禱会

【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



宗教 世界平和統一家庭連合
法人 FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

浦和家庭教会

(旧 世界基督教統一神霊協会)

教区長：鄭日權 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774 / Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com
HP: http://ucurawa.net/



全日本聖和祝祭次第



説教者：谷口昇平部長

司会者：

伴奏者：

開	会			
黙	禱	全体	
※聖	歌 聖歌 4番	全体	
※敬	拝	全体	
※家庭	盟誓(日本語).....	全体	
※年頭	標語	全体	
	全体	祈禱	全体
	聖	歌	聖歌隊
	み言	訓読	全体
説	教	私の神様を探しましょう		
	聖歌と	献金 聖歌 25番	全体
	感謝	祈禱	
	お知らせ	司会者	
※祝	禱	執礼者	
※全体	祈禱	全体	
閉	会			

※起立して進行します

『生めよ、殖えよ、地に満ちよ、萬のものを治めよ』

今週のみ言

① 十分の一献金を捧げる法

公金に対して厳しくなければなりません。10分の1献金は徹底しなければなりません。自分の総収入から10分の1の献金を必ず神様の前に捧げなければなりません。(11-219, 1961.8.26)

10分の1献金は、所有している物質中の10分の1を神様に捧げるにより全体を捧げる、という意味をもっています。父に全体を捧げるのではありませんが、その中の10分の1に精誠を込めて捧げるにより、残りの10分の9も聖なる物として取り扱えるようになります。このように10分の1献金を捧げて生活する人は、絶対減ぶことはありません。日がたてばたつほど、倉庫がいっぱいになっていくのです。(31-240, 1970.6.4)

精誠を込めて10分の1献金をしてみなさい。絶対に飢え死にしません。その子孫は、物質に対して窮乏しないのが原則です。

10分の1献金を捧げるために精誠を込めなさい。それが信仰の本質です。適当にすればよいだろうと、それは通じません。祭物は、自分の生命の代わりに捧げるのです。それで、一番貴重な物を捧げるのです。(63-338, 1972.10.22)

天聖經P1121~1122 「礼節と儀式」
第3章 礼拝と教会生活礼節
5) 献金は法度に合うように捧げるべし

統一運動

第34回「全日本聖和祝祭」を開催

天暦4月16日(陽暦5月22日)、快晴に恵まれた、尾瀬霊園(群馬県片品村)において、第34回「全日本聖和祝祭」が執り行われ、日本全国から約2000人が集まりました。

午前10時30分から行われた第一部のエンターテインメントでは、南東京教区世田谷家庭教会所属のシンガーソングライターが、本人作詞作曲の2曲と愛唱歌「勝利の日まで」をギターの弾き語りで演奏。続いて南千葉成和学生鮮鶴合唱団が3曲を透き通った歌声で合唱しました。

平井利明総務局長の司会により始まった第二部の聖和祝祭では、全体で黙禱を捧げた後、太田朝久さん(6000双)の代表報告祈禱、主礼の徳野英治・日本家庭連合会長夫妻による中央祭壇への献花がありました。

尾瀬霊園・戸丸廣安園長からは2015年度の年次報告をはじめ、尾瀬霊園の足跡、年間入園者数などの報告がありました。また、式典前日に行われた「日本開拓の碑・除幕式」の様子にも触れ、参加された西川勝先生ご夫妻には会場より大きな拍手が送られました。

徳野会長は説教の中で、1400名の聖和者への慰労と感謝の意を述べた後、「真の父母を愛し、伝えようと思うなら、神氏族メシヤの使命を果たさなければなりません」との、真のお母様のみ言葉を紹介し、私たち祝福家庭が、霊界の先輩家庭の方々と共に、強く伝道の勝利を決意し、真の父母様の夢・悲願である「天一国」創建に向かって邁進することを、力強く訴えました。

2016年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2016年 活動指針

1. 理想家庭と心情共同体形成
2. 神氏族メシヤ活動強化
3. 二世圏活性化
4. 社会貢献と救国救世基盤造成